脊髓造影検査(1泊) 疾患名 腰部脊柱管狭窄症

入院診療計画書

胸椎症 頚椎症性脊髄症 診断群分類
含む) 腰部骨盤, 不安定椎070342 脊柱管狭窄(脊椎症を
含む) 胸部070341 脊柱管狭窄(脊椎症を
含む) 頸部

主治医 看護師名	ID:	@PATIENTID
栄養士	氏名:	@PATIENTNAME

	月	月日()		
	入院日 (検査前)	(検査後)	退院日 (検査翌日)	
目標	□ 検査の必要性が理解でき、同意している□ 検査の経過が理解できる	□身体の一般状態が安定しており、検査後合併症の兆候がない	□身体の一般状態が安定しており、検査後合併症の ・ 兆候がない	
		□安静が守れ、異常時に看護師に知らせることができる。	□検査が終了し、次の治療に進むことができる	
食事	制限はありません 栄養士の訪問があります ス	制限はありません 検査後は 水分を十分に取って下さい	制限はありません	
安静	制限はありません 検査室へは、看護師と共に 車イスで行きます	検査後は、看護師と共に車イスで部屋に帰ります 検査後6時間は、頭を高くした状態で ベッド上安静です (新聞、雑誌、テレビ、ゲーム などは控えて下さい)	仕事はしないで、なるべく静かに過ごして下さい	
排泄	制限はありません	腰の検査後は、トイレまで歩行できます 頚・胸椎の検査後は、車イスでのトイレ移動になります	制限はありません	
清潔	制限はありません	入浴・シャワーはできません	シャワーは可能ですが、入浴はしないで下さい (退院翌日は、入浴可能です)	
与薬 • 点滴	検査前から点滴をします 服用している薬の確認を します	検査後も点滴が続きます 点滴が終了後、異常が無ければ点滴針を抜きます	検査のために中止していた薬を再開して下さい	
検査 • 処置	体温・脈拍・血圧測定をします	脊椎造影検査後のCTを撮ります (撮影時間は 約5~10分です) 体温・脈拍・血圧測定をします	体温・脈拍・血圧測定をします その後、腰のガーゼを外します	
説明	入院・検査についての説明が	・医師より検査結果の説明があります		
指導	あります	(月)~(木)に検査された方は検査翌日の朝に、(金)(土)に検査された方は検査当日に説明します		
備考	各書類は入院時に看護師にお渡し下さい	頭痛・吐き気等が出現したら、すぐに看護師 へお知らせ下さい	頭痛・吐き気・気分不快など異常がありましたら すぐ病院へ連絡して下さい	
栄養	特別な栄養管理の必要性 □あり □なし 本人	・家族の 要望 看護計画		

本人氏名 親族または代理人氏名 続柄: 説明日時 西暦 年 月 日 時

医療法人社団 整志会・沢田記念

高岡整志会病院 パス・②